

2022年8月1日(月) 師崎 イサキ釣り 七福丸 ツレと  
中潮:旧7/4 干潮01:24(88cm) 満潮07:03(170cm) 干潮13:41(31cm) 赤羽根漁港  
イサキ ~33cm (良型は2尾) 私 6尾 ツレ 12尾

大山沖で流し釣り

5時00分 集合  
5時30分 出船  
6時30分 ポイント着 (港からポイントまで1時間)  
07時03分 満潮(170cm) 赤羽根漁港  
12時30分 納竿 沖上がり  
帰宅後、魚処理2時間

【料金】 乗り合い 8,000円  
アミエビのコマセ・仕掛け・氷付き 釣り座は受付順  
オモリ80号・天秤・コマセカゴは、船上で借りる。

【仕掛け】 天秤吹き流し仕掛け  
サービスの仕掛け (2セット入り)  
ハリス2号幹糸2号 3本鉤 鉤にはスキンがついている。  
サメに切られ、船上で7袋購入 1袋300円  
リユースの仕掛け3セットもサメに切られた。  
結局、20セットくらいサメに切られた。

持参:クッションゴム 直径1.5mm 長さ50cm  
予備のおもり80号・天秤・コマセカゴ  
前日にフィッシング遊にて差し餌、オキアミを購入持参

### 【様子】

- ネットでたくさん釣れていることを知って行くことにした。天気予報を見て3日前に予約した。
- 客は4人だった。日陰になるように右舷で釣りたいだったが、客が4人だったことから、船長から左舷でと指定があった。左舷後ろ寄りに二人並んで座った。予想通り、一日、日向で釣ることになった。帰りは客がいなかったため、日陰となる右舷に移動した。
- 天気予報どおり、終日晴れで、風が少々あった。白波は立っていなかったが、かなりうねっていた。
- 乗船の1時間前に酔い止めを飲んでおいた。
- うねりにより、途中、気分が少し悪くなった。無理におにぎりを食べたら収まった。空きっ腹は船に酔いやすい。食べることで、酔いを抑えた。
- 流し釣りだった。
- 「棚は20m。根掛かりするので底まで落とさないでください」とアナウンスがあった。終日ほとんど20mだった。



- 当たりがあつて巻いてくると、サメにやられてしまうということがしばしばあつた。
- サメにやられる前に素速く巻き上げるようアナウンスがあつた。
- 下船後、女将さんから、暑くなってきてサメが出てくるようになった。今年はゴールデンウィークから釣れ始めたと聞いた。
- 電動リールの水深計と船長の指示棚はほぼ合っていると感じた。

**【釣り方】** 流し釣りであるので指示棚で待つ。ときどき竿をあおってコマセを撒く。

※常連さんは、指示棚で待ち、ときどき、竿をあおってコマセを撒いていた。ツレも常連さんの釣り方をまねて同様に釣っていた。

※ツレを含めて他の人は10枚以上釣っていたが、自分だけ釣れなかったのは、“待てなかった”からであろう。これまでの経験から、「イサキがいればすぐに釣れてくる。」というイメージから、待たずに、棚を変えていた。今日は流し釣りであったことから、指示棚で待つということだったのだろう。船が少し動くことで仕掛けが引っ張られ、上下1mくらいは仕掛けの位置が変わることも考慮すれば、指示棚で待つべきということだろう。

**【餌をつけるか】**(以前の記録より)

- 餌は一番下の鉤に付ける。上にも付けると、仕掛けがくるくる回って釣れない。
- サビキ仕掛けなら付け餌はいらないか。素鉤にしてオキアミをつけるか、ワームをつけるか。要検討である。
- 今日の釣果からすると、鉤にスキンが着いていたので、差し餌はいらない。